



2005年5月23日
インフォテクノスコンサルティング株式会社

弊社取締役がIBM Software World2005でセミナーを行ないました。

インフォテクノスコンサルティング株式会社(渋谷)の取締役業務本部長である齊藤由美が、去る5月18日(水)に、日本アイ・ビー・エム株式会社主催のIBM Software World2005(<http://www.idg.co.jp/expo/isw/index.html>)において、セミナーを行ないました。

17時からという時間帯ながら、多くの方にお越しいただくことができました。誠にありがとうございました。

テーマは、「経営に貢献するIT活用 - カルビー様における経営情報システムの構築」
Lotus Notes/Dominoを活用し、SAP(R/3・BW)・Oracleと連携した製造工程管理、商品情報管理、営業情報管理、勤怠情報管理など、経営判断に必要な各種情報をタイムリーに提供するシステムの構築についてご紹介いたしました。

Lotus Notesとツールが、どこまで経営をダイレクトにサポートすることができるのか、よくご理解いただける内容となっております。資料を添付しておりますので、是非ご参照ください。

経営に貢献するIT活用
カルビー様における経営情報システムの構築
Lotus Notes Domino活用事例

インフォテクノスコンサルティング株式会社

取締役業務本部長

斉藤由美

2005年5月18日

本日の講演内容

第1部 カルビー様とNotes Domino

- カルビー様情報システムにおける弊社の役割
- IT部門への期待・要望
- ノーツ導入～現在までの軌跡
- 現在のノーツ稼動・利用状況
- 現在のノーツサーバー構成
- ノーツは“もうひとつの基幹システム”として機能
- 主なノーツ業務アプリケーション
- 業務系システムの構築ツールとしてノーツが優れている理由
- 業務アプリケーションを開発・運用するうえで注意していること

第2部 アプリケーション事例紹介

- 事例 - 商品管理システムの概要
- 事例 - 製造工程管理システムの概要
- 事例 - 勤怠システムの概要
- 事例 - 営業支援システムの概要
- 事例 - 経営コクピットシステムの概要
- バックグラウンドエージェントのモニター管理

カルビー様情報システムにおける弊社の役割

2000年～ カルビー様のノーツ開発・保守・運用サポート全般を担当

- 2004年秋より、リコーテクノシステムズ(株)様、京セラコミュニケーションシステム(株)様に加わっていただくことにより、ノーツチームを大幅にパワーUp

2004年から稼働している Oracleの設計・開発を担当

- Oracleを主にノーツのバックエンドシステムとして利用。経営情報分析システム(以下「経営コクピットシステム」と呼ぶ)の元データを管理するデータストアとしても重要な位置付けになっている

SAP-R3のコンサルティング・開発経験を活かし、SAP担当パートナー様との共同案件を担当

- R3のSTRAC(戦略会計)システム、APO(生産計画システム)などとノーツを連携

業務アプリケーション構築においては、IT企画担当者およびユーザー担当者とともに上流工程から参画

IT部門への期待・要望

変化へのスピーディな対応

- ・最も重要視されているのが「スピード」。戦略・方針変更への柔軟な対応が強く求められている

ユーザーの業務品質の維持・向上

- ・「品質」も重要なキーワード。業務品質の向上 サービスレベルの向上へ必ずつなげる

ITコストの適正制御

- ・「適正」なコストを実現するため、ITパートナーの管理・運用を「戦略的アウトソーシング部隊」に委託

VOC (Voice Of Customer) 起点の発想

- ・「Customer」とは …… お客様、お取引先様、従業員、ユーザーなど全てを指す

ノーツ導入～現在までの軌跡

1999年

テーマ: Notes Domino R5.0導入。メール&情報共有

・メール、ライブラリ、掲示板など標準のアプリケーション利用開始

2000年

テーマ: 業務効率化、ワークフロー

・経費精算システム、勤怠システム(ホワイトカラー用)、クレーム管理システムなど

2001年

テーマ: SAP等他システムと連携した業務支援アプリケーションの本格導入

・商品管理システム、一般購買管理システムなど

2002年

テーマ: 経営コクピットシステムの構築

・SAPや他レガシーシステムと連携した「ノーツ経営コクピットシステム」稼動

2003年

テーマ: 業務プロセスの指標化とマネジメントのIT支援

・製造工程管理システムなど、現場マネジメントのツールとなるアプリケーション稼動

2004年

テーマ: 営業支援システムの再構築、管理系業務のサービスレベル向上

・個店カルテ(SOHO向け)、プロモーション企画、勤怠管理システム(工場含む)など

2005年

テーマ: ポータル導入、R6.5へのバージョンアップなど検討開始

現在のノーツ稼動・利用状況

ノーツのバージョンは R5.0

稼動しているノーツアプリの数は約50種類、300DB

約2000ユーザーがノーツクライアントを利用

約200ユーザーがSOHO環境でノーツを利用

メインのサーバーは合計6台。他に“経営コクピットシステム”専用サーバー有

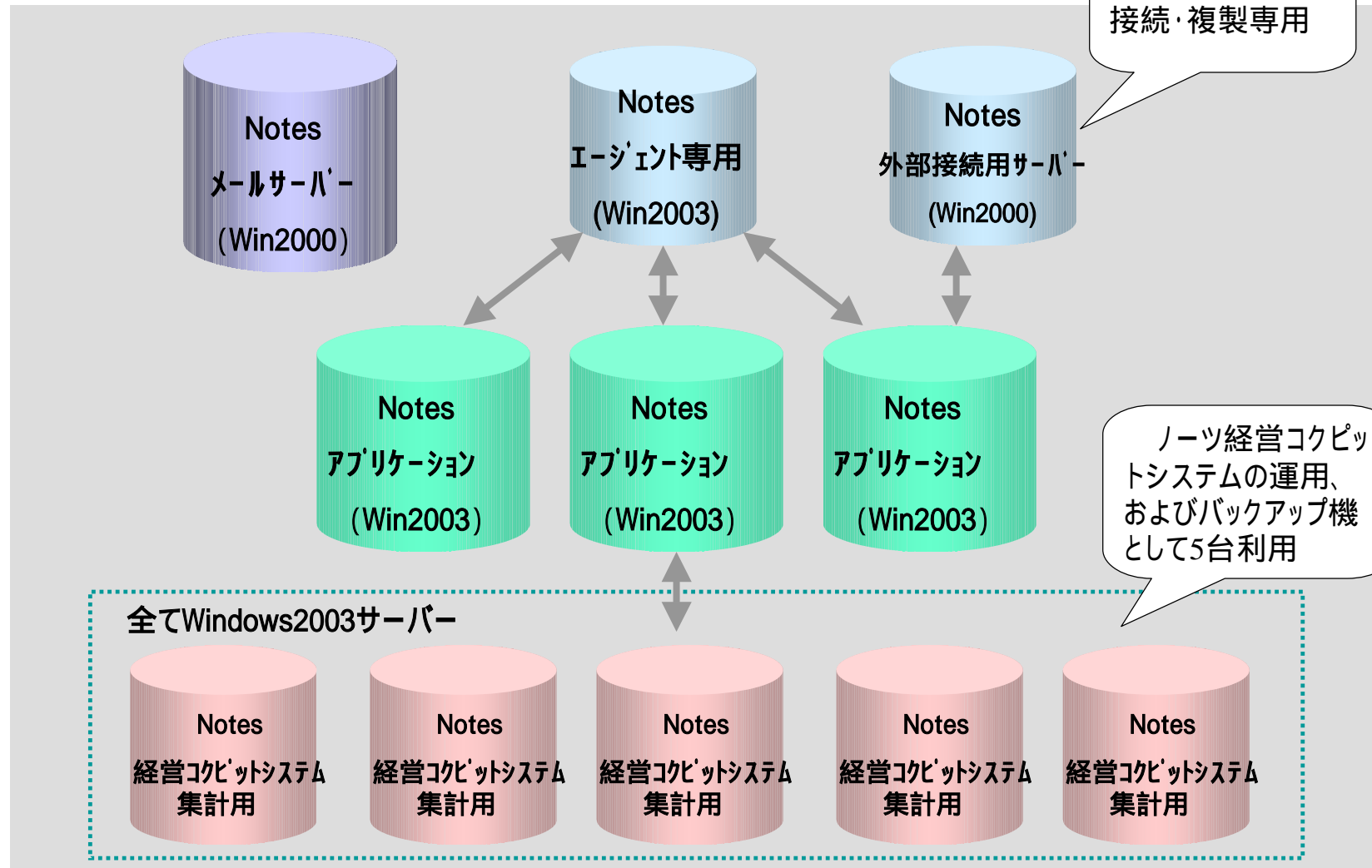
上記サーバーは全て外部のデータセンターにてハウジング

上記以外に拠点用レプリカサーバーが16台稼動

バックグラウンドエージェントの数は、約1750本 / 日次

オリジナルのエージェント監視システムにて稼動状況をモニター

現在のノーツサーバー構成



ノーツは“もうひとつの基幹システム”として機能

メッセージングインフラとしての機能

- メール、グループスケジュール

情報系インフラとしての機能

- ライブラリ、掲示板、ディスカッション、文書管理

業務アプリケーション構築インフラとしての機能

- 経営企画、生産、販売、会計、人事、管理など、あらゆる部門の業務を支援

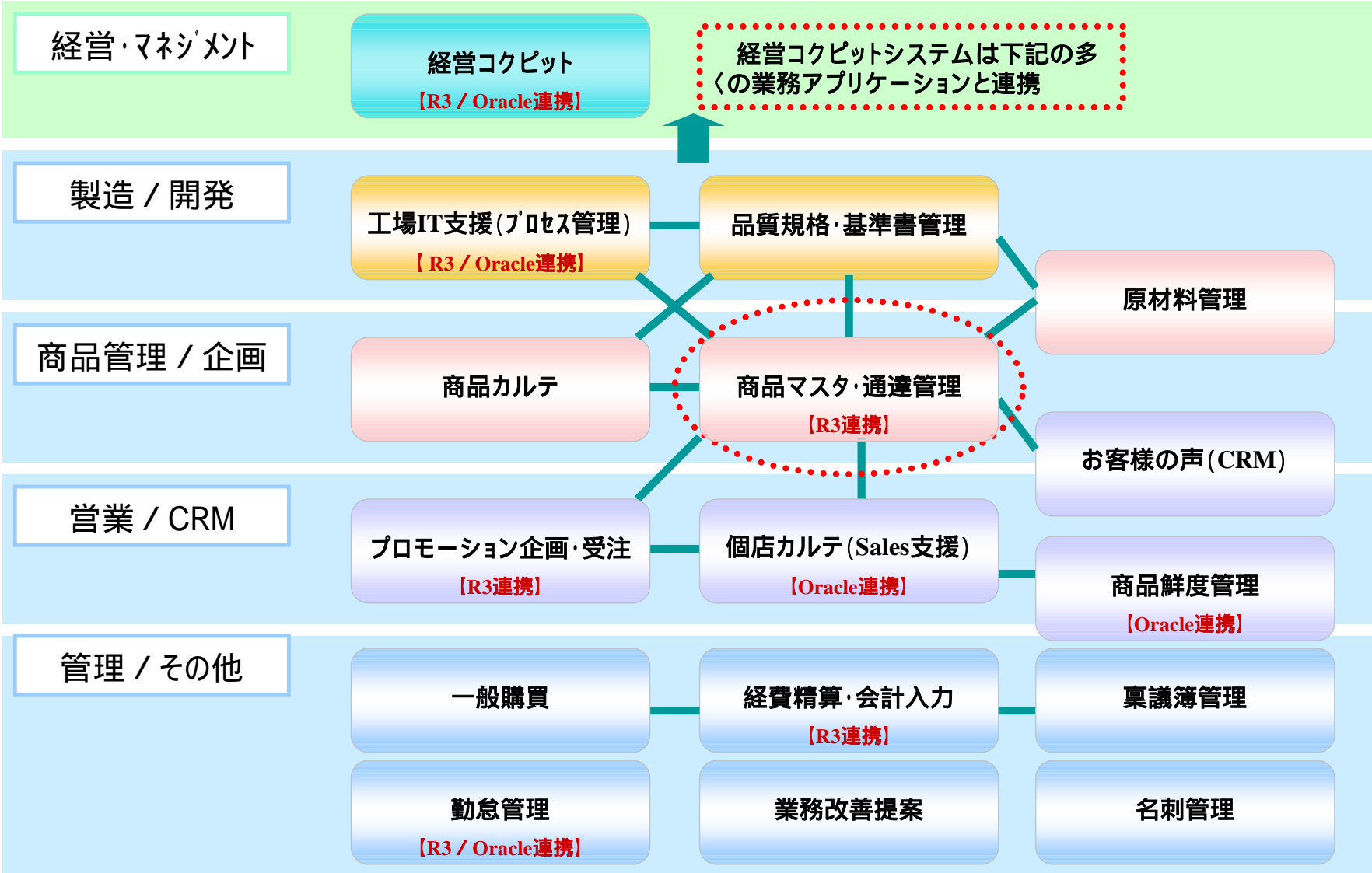
SAP - R3 (基幹システム) の入出カインターフェイスとしての機能

- マスタ入カインターフェイス他、各種基幹データへの入出力機能をカバー

経営コクピットシステムのコアエンジンとしての機能

- SAP - R3、Oracle等のデータを自動抽出・集計して週次でレポートニング & 配賦

主なノーツ業務アプリケーション (全て稼動中)



“業務系システムの構築ツール”としてノーツが優れている理由

開発環境が整っている。開発工数が短い

変化への柔軟性が高い

メッセージ機能 (Mail) を標準で持っている

セキュリティ管理機能が充実している

サーバー増設が容易でコストも低いため、システム拡張性が高い

業務が変わってもインターフェイスに統一感を持たせることができる

情報の検索性が高い (特にビュー機能は素晴らしい)

業務アプリケーションを開発・運用するうえで注意していること

パフォーマンス対策

- 文書数をある一定数に押さえるため、必ずアーカイブ処理を最初に設計。またはバックエンドのシステムとしてオラクルを利用するなど
- 共有設計要素を使わない、プロフィール文書を活用する、同一アプリ内でDBを分けすぎない、処理用の隠しビューの設計をシンプルにする (Indexerが重い) など

競合対策

- ワークフローの並列承認処理などでは必ずロック機能を用意。また、競合文書が発生した場合でも後続処理に影響を与えないような工夫をする

ユーザー要件を鵜呑みにしない

- 特に現行業務がEXCELなどで行なわれている場合、現行業務イメージをそのままノーツ化しない。業務の再設計による最適なフォーム構成、処理プロセスを必ず検討する

レポート出力機能は定型でバックグラウンド実行

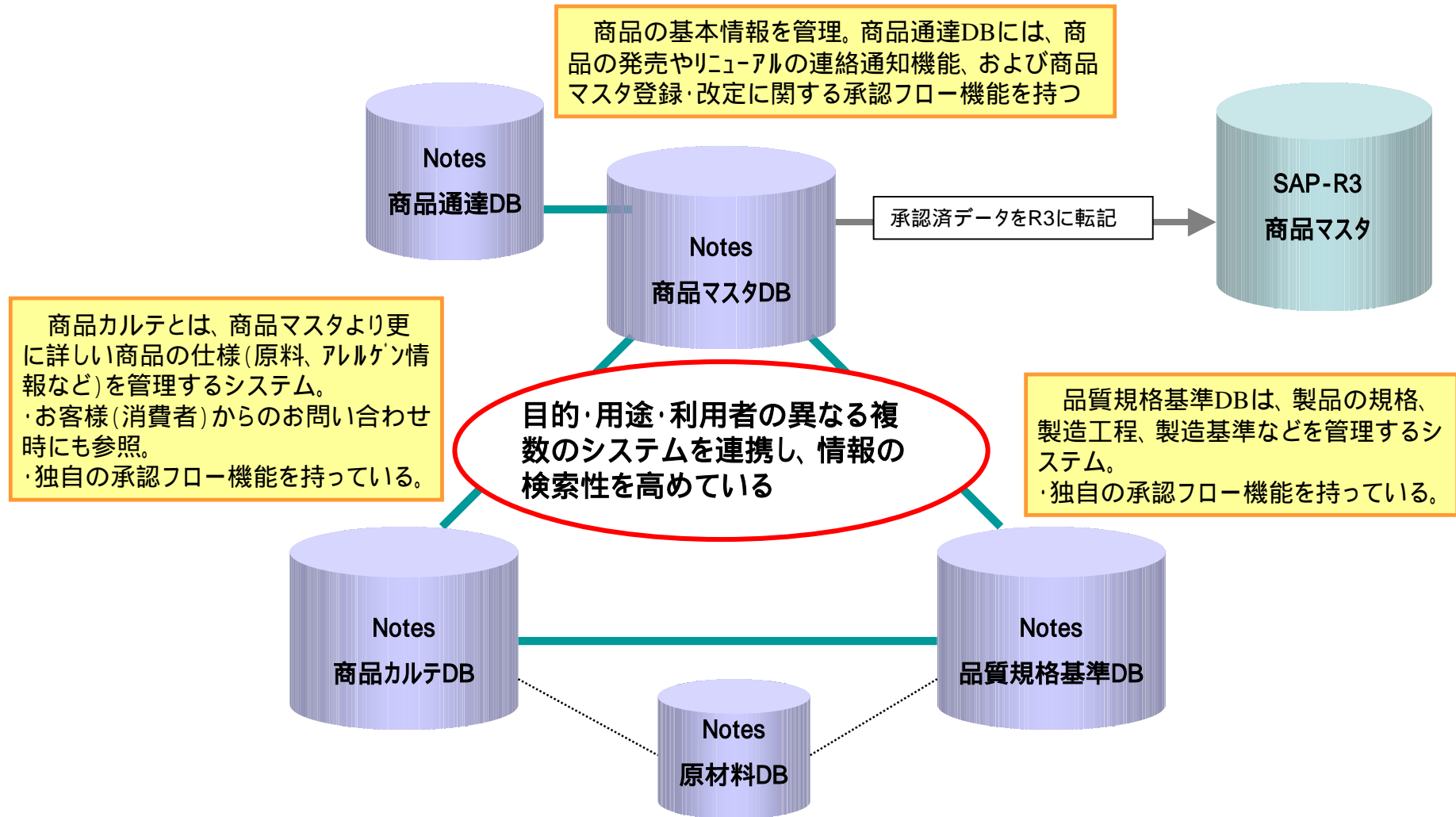
- アウトプット機能については可能な限り定型化し、バックグラウンドで処理。複雑で重い集計処理はクライアントで実行しない

1台のアプリケーションサーバーに負荷をかけすぎない

- 特に更新頻度が高く、文書数が多い業務アプリケーションを集中させない。ある一定レベルを超えると全DBのパフォーマンスが急激に悪化する

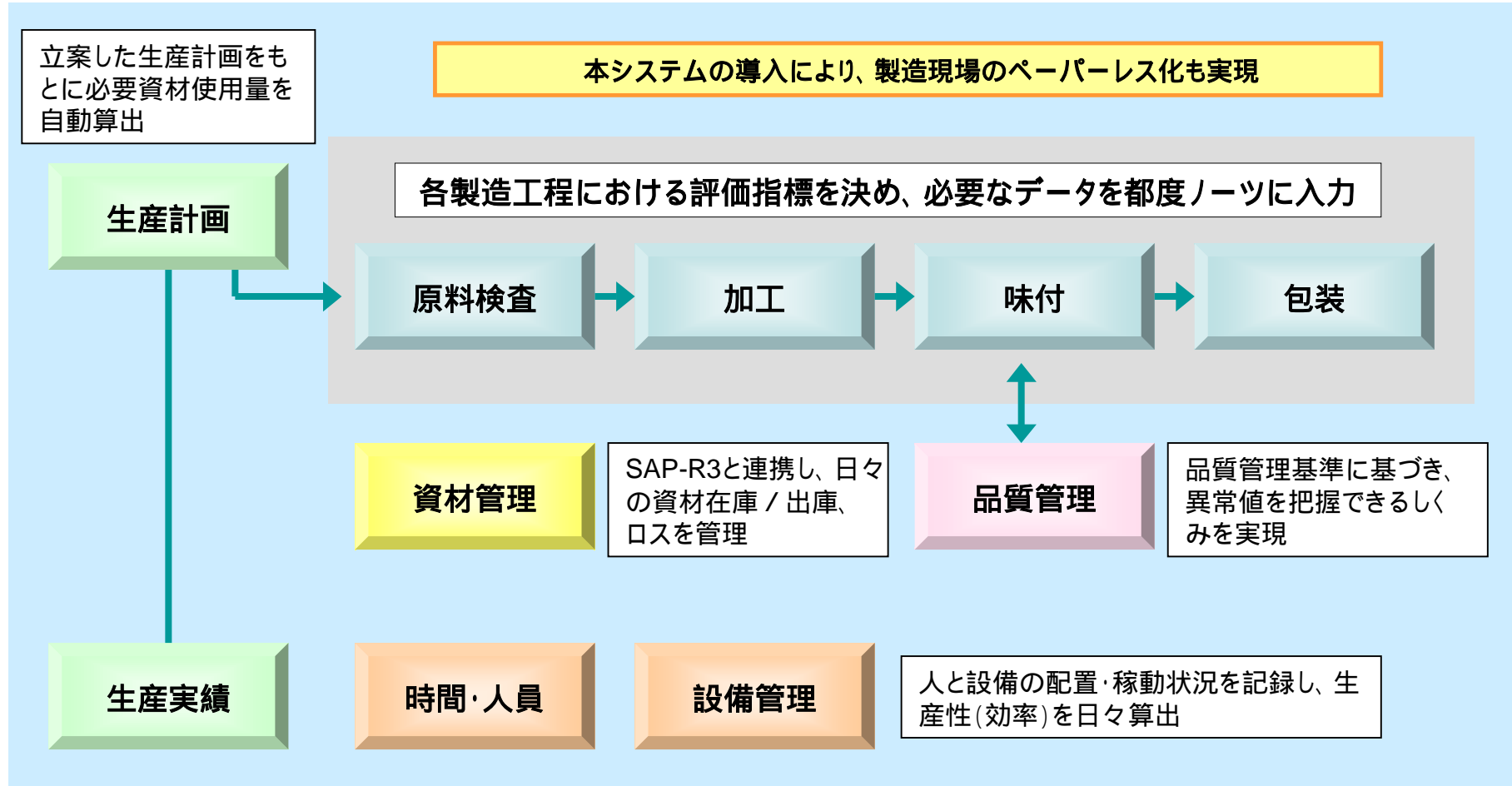
事例 - 商品管理システムの概要

複数部署、および様々な業務プロセスにおいて重要な“商品情報”をノードミノで統合管理



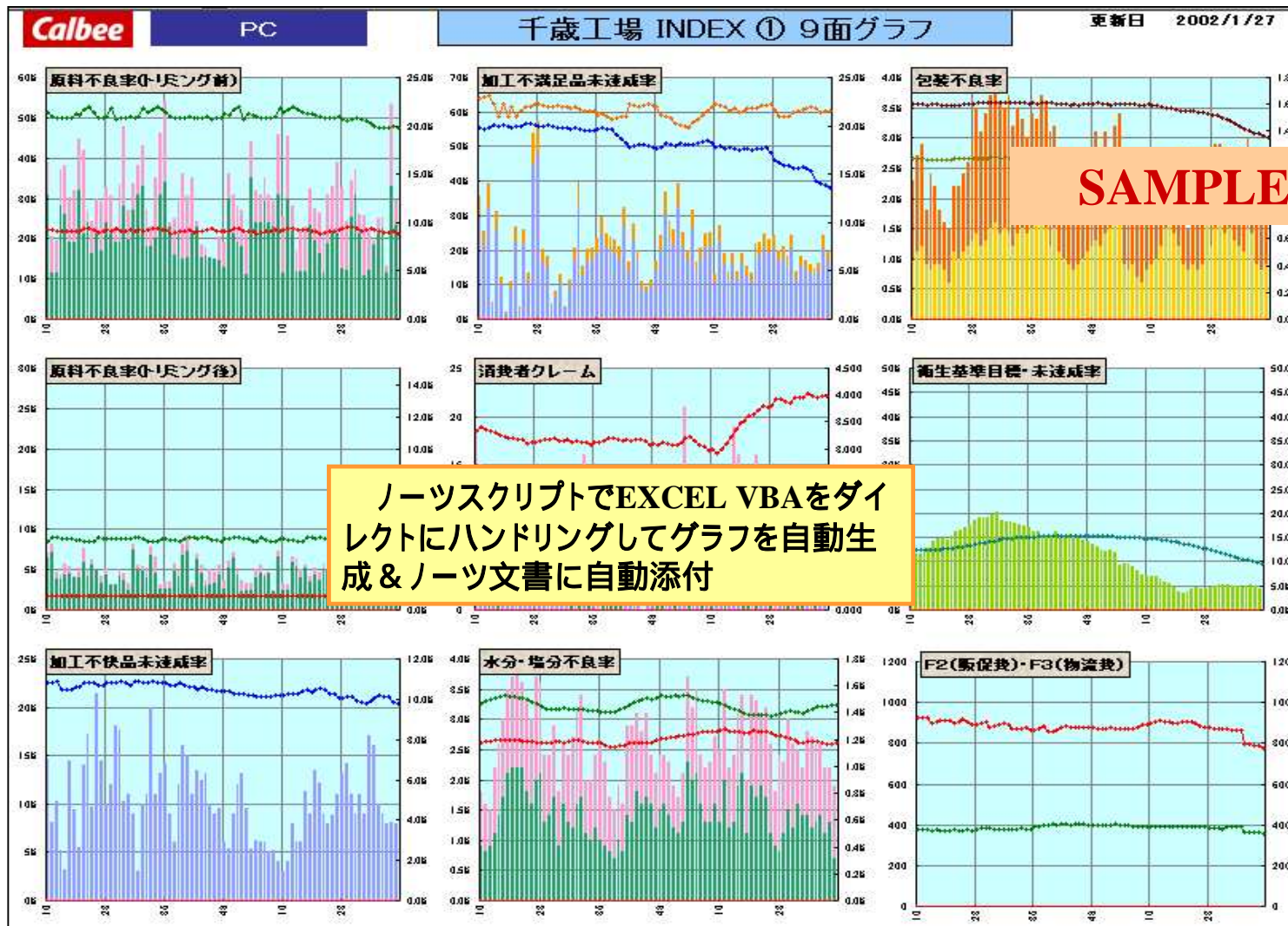
事例 - 製造工程管理システムの概要

製造工程プロセス単位で評価指標を決め、日々の成果を担当者自身が確認できるしくみを実現



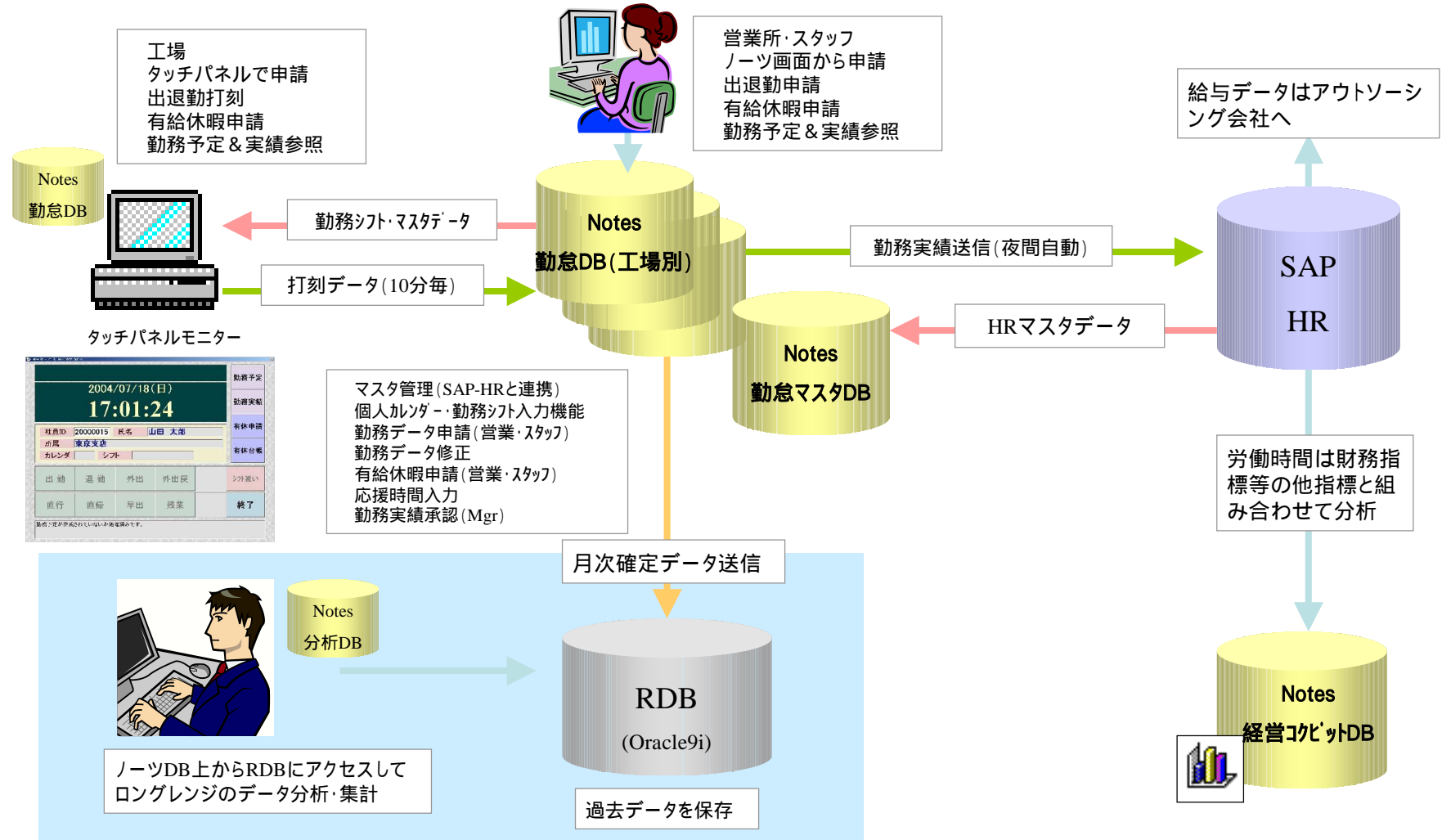
事例 - 製造工程管理システムの概要【マネジメント用・分析グラフ】

製造現場マネジメントの重要な指標となるデータを日次で自動集計し、次のようなグラフを提供



事例 - 勤怠システムの概要

ホワイトカラーと工場現場の従業員の勤怠をノーツミノで統合管理



事例 - 勤怠システムの概要【ノーツI/FからOracleのデータを抽出・集計】

勤怠管理システム
勤務データ分析
終了

労働時間分析

- ・36協定参照データ 出力指示
- ・ガイドライン参照データ 出力指示
- ・原価センター別労働時間データ 出力指示

出勤状況分析

- ・出勤状況データ 出力指示

有給取得状況分析

- ・有給取得状況データ

人員構成分析

- ・人員・労働時間推定

【注意事項】

- ・レポートはすべてOracleから抽出

36協定参照データ
2005/4/30

組織コード	社員NO	氏名	資格コード	早退日数	早退分	残業時間 (契約超過)	残業時間 (非正規)	法外日数	法外交差	法内日数	法内交差	休日出勤 合計	法外出勤 日数	法内出勤 日数	所定時間 日数	1日延長労働日数	警告	OUT
14	95	0	35	7.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
0	13.75	13.92	9.08	1.0	0	0	0	0	0	0	0	1.0	0	0	7	1	0	0
0	6.75	6.08	4.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
0	2.0	2.33	0.33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14.5	0	16.17	12.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	2	2
13.5	0	15.17	9.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	1	1

有給休暇取得状況
2005/4/30

人事SUB: FSC
 期間: 2004/9/16 ~ 2005/3/15

所属	氏名	資格コード	付与日	付与日数	取得日数	取得率
FSC・総務部	...	15	2004/3/16	20	6.5	33%
			2004/3/16	20	34	170%
			2004/3/16	20	4.5	23%
			2004/3/16	20	4	20%
			2004/3/16	20	5	25%
			2004/3/16	20	7.5	38%
			2004/3/16	20	9	45%
			2004/3/16	0	0	0%
			2004/3/16	20	1	5%
			2004/3/16	20	0	0%
			2004/3/16	20	5.5	28%
			2004/3/16	20	9	45%
			2004/5/21	14	12	86%
			2004/3/16	18	9	50%
			2004/11/11	12	6	50%
			2004/6/1	11	3	27%
			2004/8/18	11	8	73%
			2004/5/17	10	5	50%
			2004/10/21	10	3	30%
			2005/2/7	10	0	0%
				316	132	42%
			2004/3/16	20	1	5%
			2004/3/16	20	4	20%
			2004/3/16	20	4	20%
			2004/3/16	20	3.5	18%
			2004/3/16	20	17	85%

36協定参照データ

● 出力期間を指定してください

出力期間 2005/04 16 (16日)から 3ヶ月間

● 3ヶ月警告/OUTを判定する起点年月を指定してください

起点年月 出力期間開始日から

● 出力範囲を指定してください

範囲指定 SUB領域から選択
 組織ユニットから選択

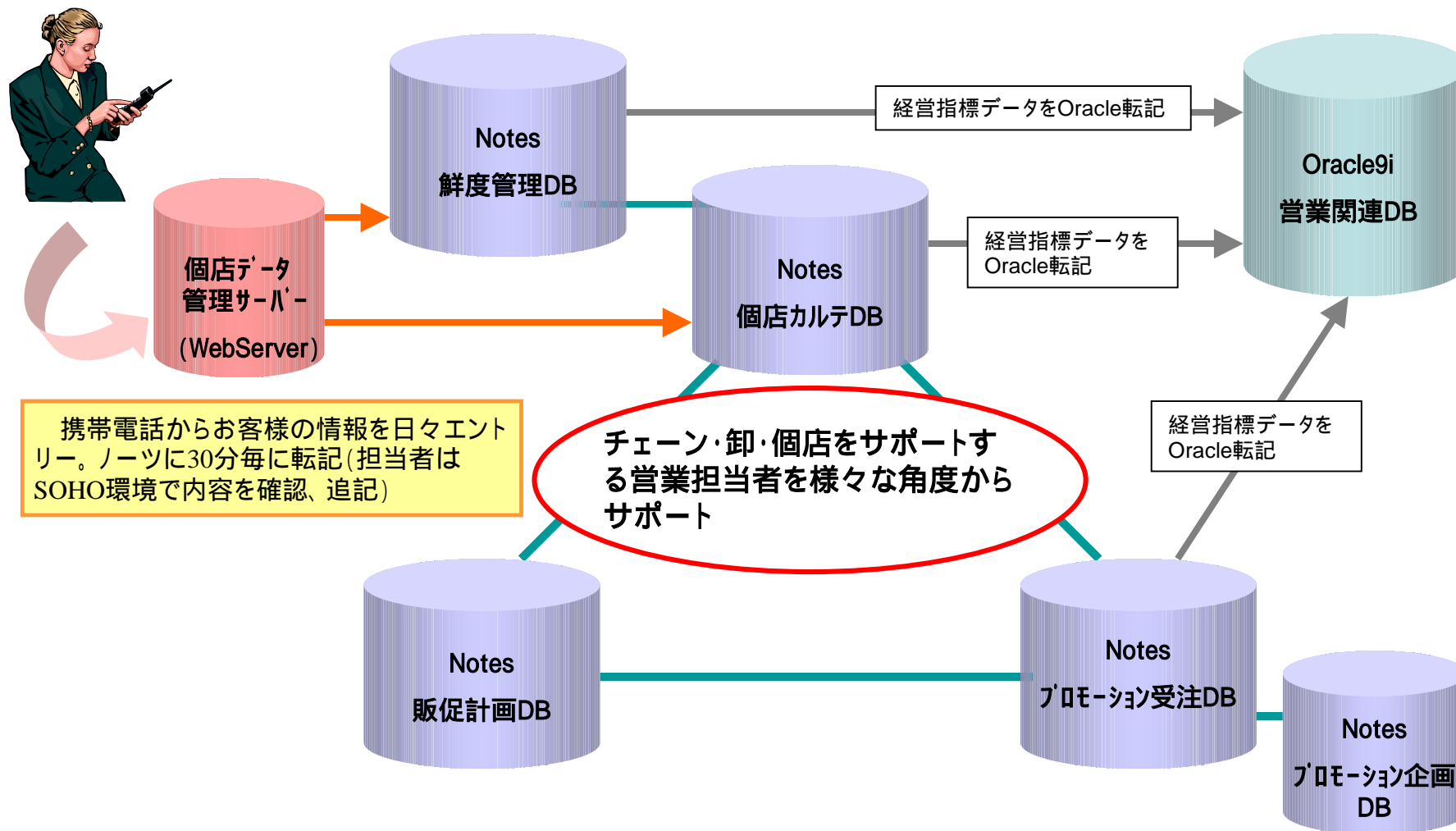
● 集計区分を選択してください

OK
キャンセル

★お客様情報につき非表示

事例 - 営業支援システムの概要

SOHOの個店営業担当者、およびチェーン・卸商談を行なう営業担当者をサポート



事例 - 経営コクピットシステムの概要【画面イメージ】

【週次決算】に対応した“経営情報システム”をノーツインターフェイスで全従業員に提供。現在約60の指標がある



経営情報 コックピット(本)

1. 全社メニュー
 2-01. PC
 2-02. EB
 2-03. YS
 2-04. JR
 2-05. CE
 2-06. KT
 2-07. 新規
 2-09. 商品ALL
 3-01. 北部
 3-07. 九州
 3-08. 綾部工場
 3-09. 下妻工場
 3-10. 広島工場
 3-11. 清原工場
 3-99. 地域ALL
 z. システム管理

閉じる ? INDEXグラフ解説 ? 店頭鮮度ヒストグラム解説 評価チーム用コクピットへ

グラフ	商品CO	更新日付	ステータス
商品別・地域PQ/G2	PC	2002/07/09	リリース済
商品別・地域新製品比率	PC	2002/07/09	リリース済
商品別・地域MPQ/H & m率	PC	2002/07/09	リリース済
商品別・地域f/m比率	PC	2002/07/09	リリース済
商品別・地域MPQ&F	PC	2002/07/09	リリース済
商品別・地域店頭鮮度	PC		
商品別・INDEX	PC		

毎週カルビー週締日の翌日に前週までの最新実績を更新

参照したいグラフのタイトルをダブルクリックすると、エクセルが自動起動し、9面グラフが表示される。

最後に・・・

CIO 中田副社長様との出会い

ユーザーとITパートナーの新しい関係

アプリケーション構築ツールとしてのノーツへの期待